

Usage Guidelines

Version 2.1.0

【別冊 D】 Chem eStandards 「基本モデル」と JPCA-BP との対比

石油化学工業協会

情報通信委員会・CEDI-WG

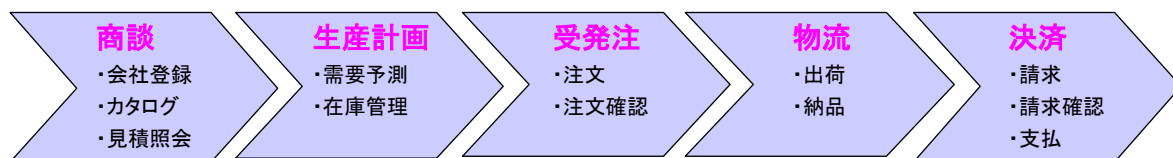
ここでは Chem eStandards の Usage Guidelines (UG という) が定める利用指針 (基本モデル) と石化協標準ビジネスプロトコル (JPCA-BP という) とのデータ交換や利用指針における相違点や対応関係について記述する。

1. JPCA-BP の概要
2. 対応メッセージ
3. コードの取り扱い
4. 非適合項目の取り扱い
5. 決済条件の取り扱い
6. ネットワーク／システム構成
7. 伝送タイミング

1. JPCA-BP の概要

JPCA-BP は、1992 年に石油化学工業協会が定めた EDI の標準ビジネスプロトコルであり、主に化学メーカーと商社間の電子取引で適用されてきた。JPCA-BP が想定している業務は受発注から決済までであり、UG が対象としている業務範囲と基本的には合致しているが、運用面でいくつかの相違点が見られる。

《対象業務範囲》



JPCA-BP : 11 種類

マスタ・データ	受発注	物流	決済
取引条件 納入先	注文 注文確認 注文エラー	出荷依頼 出荷案内	出荷請求 請求確認 支払明細 支払

(参考) Chem eStandards V5.4 : 73 種類

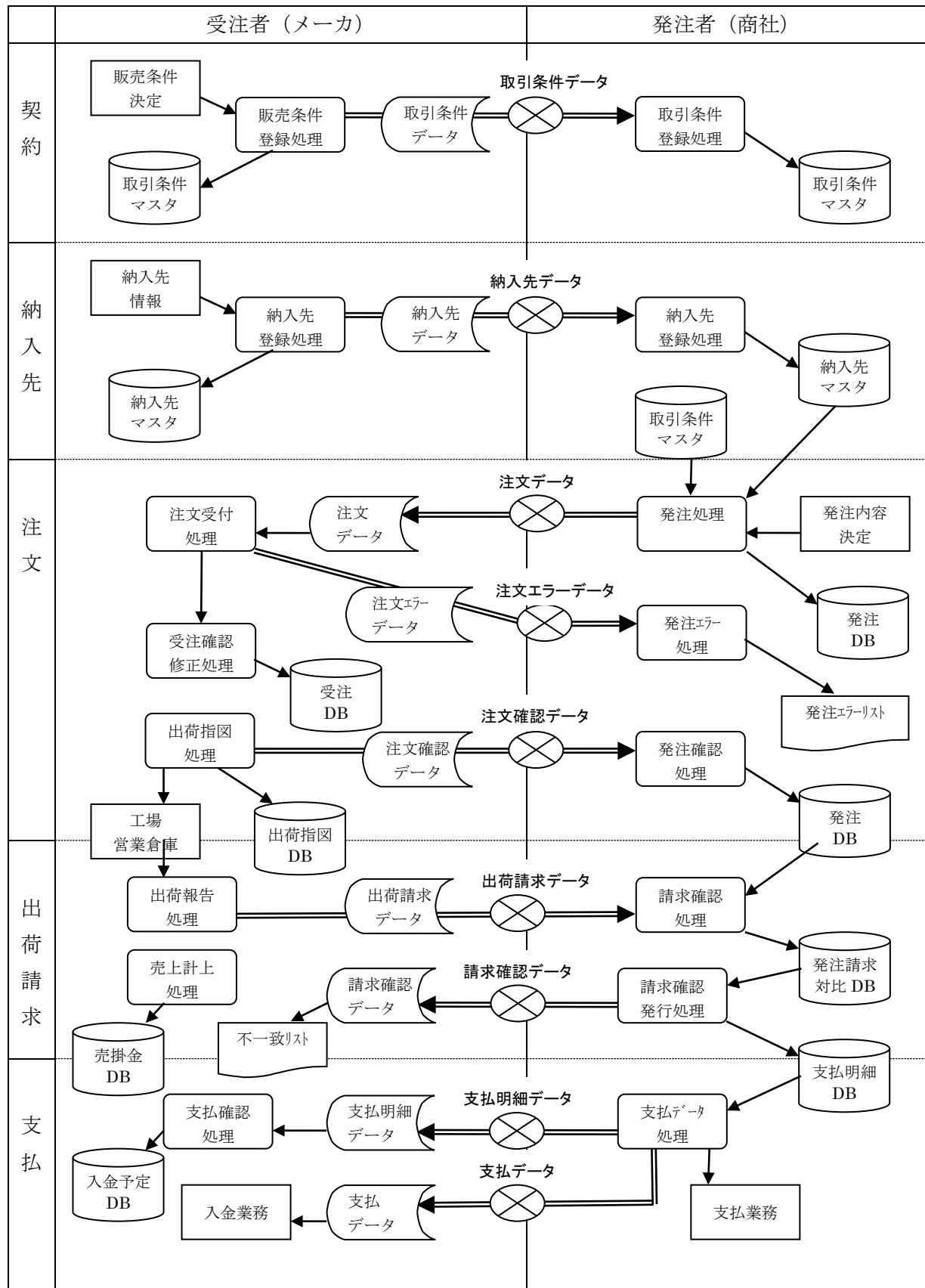
Customer/Company Info QualificationRequest QualificationResponse Contract ContractResponse Catalog and RFQ ★CustomerSpecificCatalogUpdate ProductCatalogUpdate RequestforQuote Purchase Order ★OrderCreate ★OrderChange ★OrderResponse ★OrderStatusRequest ★OrderStatusResponse OrderStatusListRequest OrderStatusListResponse PriceAndAvailabilityRequest PriceAndAvailabilityResponse PriceSheet	Financials ★Invoice ★InvoiceResponse Payment ★PaymentDetail PaymentResponse ★AcceptanceNotification Logistics CarrierWeights FreightBill LoadTenderMotor LoadTenderOcean LoadTenderRail LoadTenderResponse ★ReceiptNotice ShipmentStatusRequest ShipmentStatus ★ShipNotice ShipmentInstructions ShipNoticeList ShipNoticeListRequest DeliveryConfirmation DeliveryConfirmationResponse LoadBuildingMotor LoadBuildingMotorResponse	Exchange Interactions PostingAccept PostingAcceptResponse PostingCancel PostingCancelResponse PostingChange PostingCreate PostingResponse PostingStatusRequest PostingStatusResponse Credit Upon Proof of Sales(CUPS) CostSupportRequest CostSupportRequestChange CostSupportResponse CostSupportCreditRequest CostSupportCreditResponse Reporting BusinessTransaction ProductMovementReport	Forecasting DeliveryReceipt DeliveryReceiptResponse DemandForecast DemandForecastResponse DemandPlan DemandPlanResponse InventoryActualUsage InventoryActualUsageResponse ForecastedProductMovementReport ReplenishmentProposalCancel ReplenishmentProposalChange ReplenishmentProposalRequest ReplenishmentProposalResponse SupplyPlan SupplyPlanResponse Product Information CertificateOfAnalysis QualityTestingReport
--	--	---	---

★CEDi-UG が対象としているメッセージ

《想定取引》

- ・化学メーカー (販売) と商社 (仕入)
- ・国内取引
- ・継続取引

《基本業務フロー》



《運用面での主な相違点》

項目	JPCA-BP	CEDI -UG
取引条件の取扱い	EDI 注文前に売り手から買い手へ取引条件データを送信することが前提条件となっている	取引条件データの交換は必須要件となっていない
品目コード	売り手コードを使用 (コード変換：買い手)	買い手と売り手の協議により決定
企業コード	CII コードを使用 (一部は独自コード)	DUNS を使用 (一部は独自コード)

2. 対応メッセージ

JPCA-BP で使用するメッセージと Chem eStandards の対応メッセージは以下の通りである。

対象業務	JPCA-BP	CEDI -UG (Chem eStandards)
マスタ データ交換	取引条件	CustomerSpecificCatalog Update
	納入先	— (※1)
受発注	注文 (注文変更を含む)	OrderCreate OrderChange
	注文確認	OrderResponse
	注文エラー	— (※2)
	出荷請求(出荷のみ)	ShipNotice
決済	出荷請求	Invoice
	請求確認	InvoiceResponse
	支払明細	PaymentDetail
	支払	— (※3)

《対応メッセージの相違点》

(1) JPCA-BP では取引条件メッセージによるデータ交換が必須要件となっているが、UG では CustomerSpecificCatalogUpdate(取引条件)による EDI 伝送は任意運用としている。

(2) JPCA-BP の納入先メッセージに対応する Chem eStandards のメッセージは定義されていない。

(※1) JPCA-BP は売り手の納入先コードによる運用を前提としているが、Chem eStandards では CustomerSpecificCatalogUpdate や OrderCreate 等で納入先情報 (ShipTo) を送信することを想定しているので必要性が考慮されていない。

(3) JPCA-BP の注文エラーメッセージに対応する Chem eStandards のメッセージは定義されていない。

(※2) 注文メッセージの内容が不正の場合はオフラインで連絡し、適切な対応する。

(4) ~~CEDI~~-UG の InvoiceResponse(請求確認)では ErrorStatus で確認結果を返送するが、これは JPCA-BP の請求確認メッセージ(省略形式)に相当する。JPCA-BP の請求確認メッセージ(標準形式)による確認結果(買い手の把握内容)を Chem eStandards で返送することはできない。

(5) JPCA-BP の支払メッセージに対応する Chem eStandards のメッセージは定義されていない。

(※3) JPCA-BP の支払メッセージでは支払合計金額を売り手へ送信するだけだが、Chem eStandards の Payment は金融機関への支払依頼を目的としている。また、~~CEDI~~-UG では売掛金の消し込みまでを適用範囲としているため、Payment の使用は想定していない。

3. コードの取り扱い

JPCA-BP と UG では使用コードの変換規則が異なっている。

項目	JPCA-BP	CEDI -UG
品目コード	売り手コードを使用	買い手と売り手の協議により決定
企業コード (発注者・受注者)	CII コードを使用	DUNS を使用
企業コード (需要家・納入先ほか)	独自コードを認める	独自コードを認める
共通コード (通貨、単位など)	JPCA-BP にて規定	各国際標準に準拠
契約番号	売り手の契約番号を使用	買い手と売り手の協議により決定

● 運用ガイド

(1) 品目コード・契約番号は売り手と買い手で相談の上で決定する。どちらのコード・番号を使用するとしても「売り手～買い手」のいずれかでコード変換が必要である。

(2) 企業コード・共通コードはそれぞれの EDI 標準が定めるコードを使用することを推奨

する。

4. 非適合項目の取り扱い

JPCA-BP と Chem eStandards では必要とされるデータ項目が異なっており、その場合の運用について以下の通りとする。(JPCA-BP と Chem eStandards とのフォーマット変換を伴うデータ変換を実施する場合、以下の運用が必要となる)

☆ JPCA-BP に存在して Chem eStandards に存在しない項目に関する運用ルール

JPCA-BP 項目	項目の概要	運用ルール
オーダー区分	緊急注文の連絡	DeliveryGroup を使用し、緊急注文や連絡済を判断する。
連絡要否区分	注文確認を要求するか否か	メッセージとして OrderResponse を必須とする。
数量指定区分	受注者による注文数量の変更を認めるか否か	個別の契約の中で規定する。
分納区分	分納であるかどうかを示す	取引当事者間で、次の選択肢を取り決める。 (1) Buyer が分納に対応した OrderChange と OrderCreate を送信する。(UG 4.4 章参照) (2) Seller が分納のメッセージを送信する。(UG 4.4 章参照)
受注者注文受付日時	受注者による注文受付日時	OrderCreate に対する Acknowledgement の発信日時とする。
受注者注文確定日時	受注者による注文の確定日時	OrderResponse の発信日時とする。
需要家関連	ユーザー関連のコードなど	OtherPartner(PartnerRole=SoldTo)を割当て
決済条件詳細情報	締切日、起算日、決済基準など	別項 (3.1 項目使用規則の決済条件について) を参照
口銭関係情報	口銭区分、口銭単価など	使用しない。
荷姿	商品の梱包形態	ProductDescription に格納する。
遡及区分	単価遡及か否か	メッセージ交換規則に従い、InvoiceType で判断する。
数量確定区分	買い手検量基準か、売り手出	JPCA-BP でいうところの先方検収

	荷数量基準か	数量基準の場合、接続モデルとして検量通知モデルを利用する。この時、買い手側で支払金額まで確定する場合は、検収支払モデルを利用する。また、売り手出荷数量基準の場合は、上記以外の接続モデルを利用する。
--	--------	--

☆ Chem eStandards の必須項目であり、JPCA-BP に存在しない項目に関する運用ルール

Chem eStandards 項目	項目説明	値
ThisDocumentIdentifier	送信者のユニークな連番	1 からの連番
BuyerSequenceNumber	買い手が採番する同一注文単位の連番	0 からの連番
SellerSequenceNumber	売り手が採番する同一注文単位の連番	0 からの連番
PurchaseOrderTypeCode	注文タイプ	KN
LineNumber	複数明細の行番号	1(単一明細のみ)
PurchaseOrderLineItemNumber	注文単位の明細番号	1(単一明細のみ)
ScheduleLineIdentifier	納入予定の行番号	1
PriceBasis:MeasurementValue	単価の数量単位	1
BuyerTransactionNumber	支払明細を識別する番号	1 からの連番
UnitOfMeasureCode	販売／出荷の数量単位	(共通コード表参照)
LanguageCode	言語	JA (国内取引の場合)
CurrencyCode	通貨	JPY (同上)
CountryCode	国	JP (同上)

5. 決済条件の取り扱い

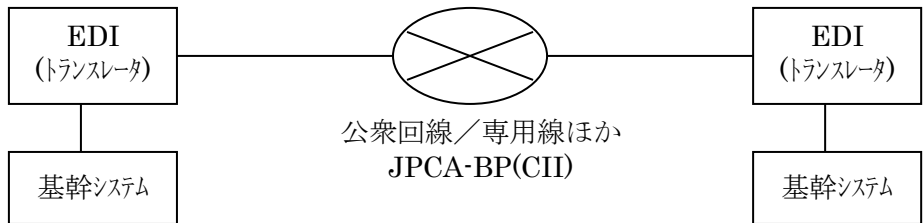
取引条件データや請求データにおいて決済上必要な項目の使用法を JPCA-BP と Chem eStandards を対比して記述する。

☆ 決済上必要な項目と JPCA-BP/Chem eStandards とのマッピング

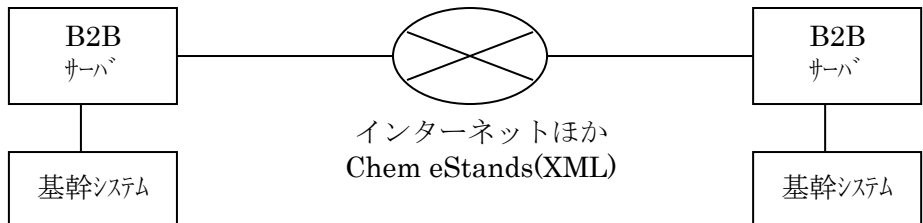
JPCA-BP 項目	Chem eStandards 項目	例 1	例 2
決済条件手段	PaymentTermsOfSale	手形	期日現金
締切日	InvoiceIssueDate	2006/11/20	2006/12/31
起算日	InvoiceDate	2006/11/30	2007/1/31
満期日	PaymentTermsBasisDate	2007/2/28	2007/4/30
決済基準	PaymentTermsBasisDateCode	出荷日基準	納入日基準

6. ネットワーク／システム構成

JPCA-BP は公衆回線や専用線等の従来型ネットワークをベースとしており、一般的なシステム構成は以下の通りである。



一方、Chem eStandards はネットワークインフラとしてインターネットを利用することを想定しており、B2B 構築に必要なシステム構成も異なっている。



7. 伝送タイミング

JPCA-BP が伝送タイミング自体を規定しているわけではないが、JPCA-BP を採用している企業の多くではバッチ方式による EDI 運用が行われている。

それに対して、Chem eStandards は、XML メッセージによるリアルタイム方式のデータ交換を前提としており、EDI システム運用の要件や制約等が異なってくる。